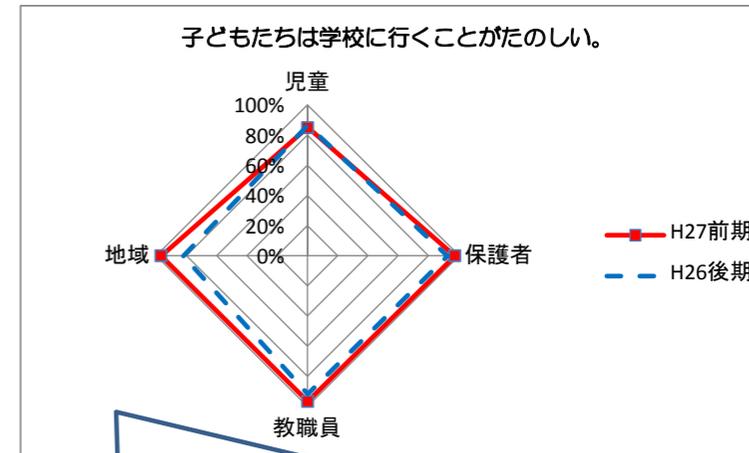
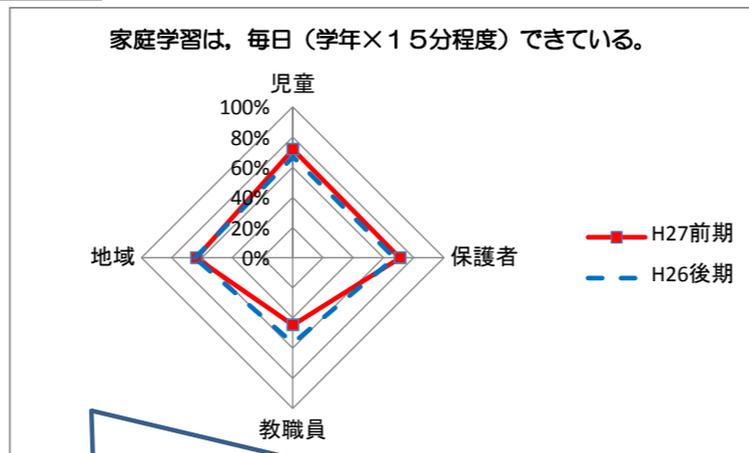
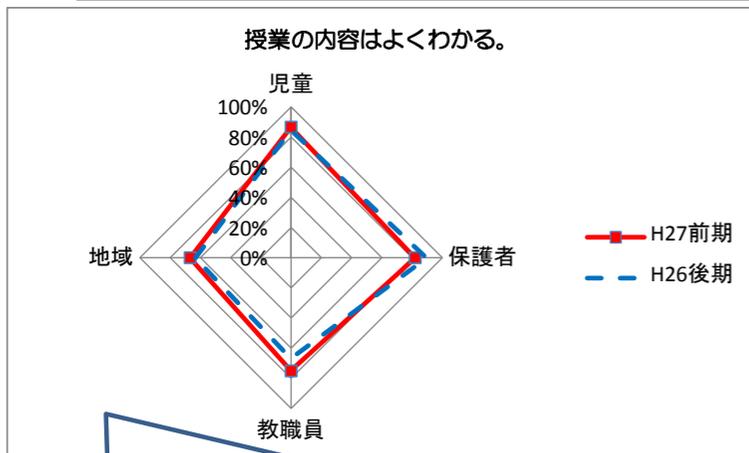


H27前期学校評価の結果を振り返って

夏休み前に実施した学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。グラフのポイントは、実現度「よくできている」「できている」を合わせたものです。

実現度について「H26後期」と「H27前期」の比較をしました。

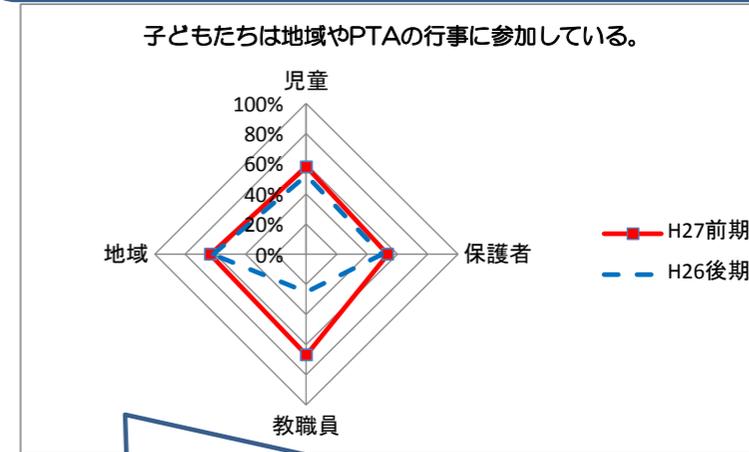
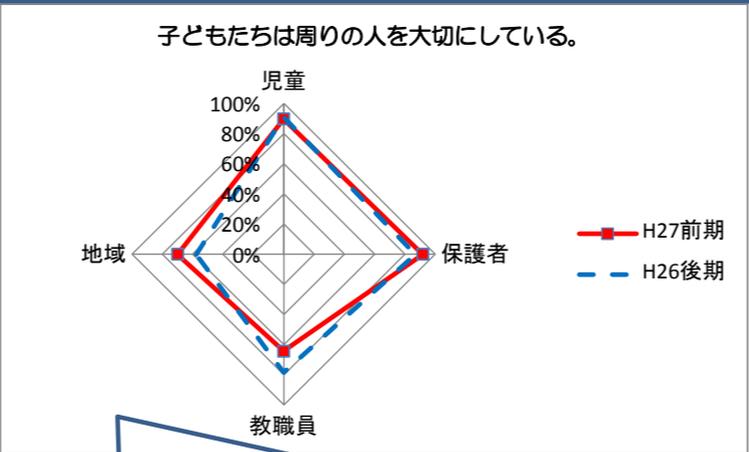
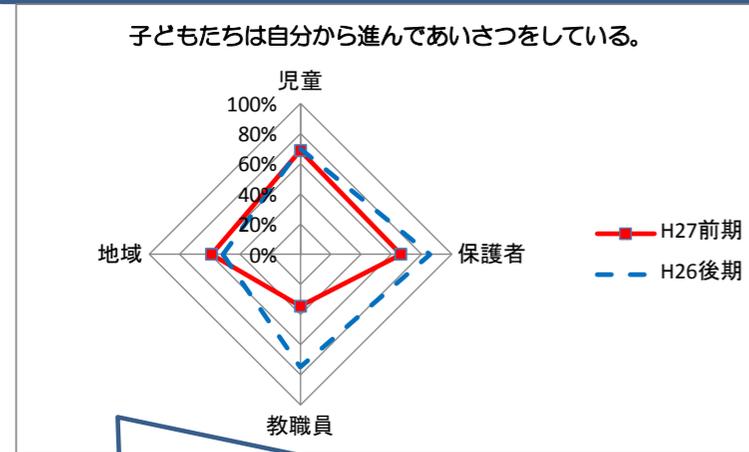
*地域の方に関しては、答えられる範囲で回答いただいたものを使用しています。



教職員の実現度が8%上がっている。子どもたちの授業中の様子や、単元末テストの結果などで改善されてきている。また、ICT機器を取り入れることにより、授業の着目すべきポイントが分かりやすくなることや発表をしたり、聞いたりするときのツールとして効果的に役立ったことがあげられる。

家庭学習には、「①基本の課題」と「②自分で取り組む課題(自主学習)」があり、学年があがると①の基礎基本をもとにした②の課題が重要となってくる。自主学習は、自分自身でがんばりたいことや授業の予習・復習など補充の学習として活用することもでき、苦手を克服するチャンスととらえることもできる。児童の回答で5%あがっており、家庭学習での努力の様子がうかがえる。

児童は概ねたのしく通っているといえる。重要度では「(あまり)重要ではない」と答えた児童が7%に改善された。しかしながら依然15%程度「(あまり)できていない」と答えた児童が存在する結果を今回も重く受け止めなければならない。保護者・教職員・地域の3者ではかなり改善されている点から、現在の取り組みを進める一方で子どもたち個々の状況を汲み取っていくことが大切である。



児童・保護者・教職員で下がっている。児童は重要度からあいさつの大切さについて十分理解はしているが、実行には至っていない状況が続いている。一方、校内の活動時や下校時には元気な声であいさつできている場面が多くある。登校時のあいさつについては今後も課題である。※地域一斉の取り組みとして、「神川中学区あいさつデー」を9/1(火)に実施した。

これまでとほぼ同様の結果となっている。重要度はほぼ100%である。実現度のグラフから、地域の結果が上がっている。子どもたちの地域で過ごす様子から、友だちや周りの人を大切にする姿が現れていると思われる。子どもたちの言葉や行動から人を大切にしている場面をみつめていくようにしたい。

地域やPTA行事に参加する児童は増えている。休日については各家庭の都合もあるが、夏休み中の「久我の杜夏祭り」は大盛況であった。PTA・地域などたくさんの方にお世話になって子どもたちを健やかに育てていく取り組みが実施されている。引き続き参加を促す声かけとともに、PTA・地域などたくさんの方に見守られていることを伝えていく。

重要度の集計結果から

児童の結果が全項目で上がっており、「学習」、「地域行事参加」、「教員に相談する」項目で大きく上がっていました。重要度の結果は取り組みを進めてほしい「願い」であるとともに、学校として大切にしていること、指導に力を入れていることについて、ご理解いただいている指標でもあります。子どもたちが行動に結び付けられるよう引き続き指導していきます。

実現度の集計結果から

アンケート項目は以前と同様ですが、「児童の実態」がよりわかる質問内容に変更した項目がいくつかあります。そのため前年度と単純に比較することはできませんが、少しずつ改善傾向にあります。しかしながら、「あいさつ」については引き続き課題となる状況です。

H26後期とH27前期の結果から

児童についてはほぼ同様の結果となっており、「重要度」については、アンケートを実施するたびに改善され、望ましいモデルとして意識が高まっています。「実現度」の中でも、「授業以外で本を読む」「地域やPTA行事へ参加している」について実現度が上がっていました。子どもたちは、自分たちの努力している姿や達成途中にある状態を「実現度」として回答することが難しく、やりきった時に初めて「できた!」と強く思う傾向にあります。平成27年度全国学力学習状況調査の児童質問紙「自尊感情」の項目で本校児童は自分自身の努力等に関して自身を持った回答ができにくい結果となっていました。これらの点からも、子どもたちが達成できたときに「できたね!よくがんばったね!」という声かけはもちろん、目標にむかって進んでいる状態の子どもたちに「今の努力を続けたらきっとできるよ!」という応援の声かけがより大切であると思います。